

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

入学試験 ガイド

2022年
4月入学・9月入学



不測の事態の発生等により、やむを得ず入学試験の内容（試験日程、出願要件、選考方法等）を変更することがあります。変更内容は、本学「受験生サイト APUmate」にて公表します。出願、受験に際しては、必ず「受験生サイト APUmate」で最新情報を確認してください。

立命館アジア太平洋大学

APUの入試の特色	P2	入学検定料／入学手続時納付金／学費	P30
入試方式一覧	P3	奨学金制度	P31
入学基準言語について／各入試方式における 英語外部資格試験の出願資格について	P4	Q&A	P33
出願から合格発表までの流れ／国内学生入試の 受験で特別な支援を必要とする方へ	P5		
APU入試日程カレンダー	P6		
総合型選抜	P7		
海外就学経験者（帰国生）入試	P12		
国際バカロレア（IB）入試	P13		
一般選抜	P14		
秋期入試	P24		
編入学試験・転入学試験	P28		
入試結果データ	P29		



アドミッション・ポリシー

立命館アジア太平洋大学（APU）の基本理念「自由・平和・ヒューマニティ」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」に共感し、世界から集う学生とともに学び、異なる文化と価値観の違いを認めて理解し合い、多文化・多言語キャンパスからなる大学コミュニティにおいて日英両語で積極的に交流し、相互の学びに貢献する意思を持った学生を求める。

このような学びを行うためにAPUに入学する学部学生には、以下の資質・能力などを有することを求める。

学部共通

- 1) 知識・技能
 - 大学での学習に必要な基本的知識
 - 大学での学習を遂行するために必要な英語または日本語の能力
- 2) 思考力・判断力・表現力
 - 主体的に課題を発見し問題解決に取り組むためのクリティカル・シンキングと分析力、創造力
 - 情報を正確に読み解く力、自分の考えを的確に表現し論理的に説明する力や数的思考力
- 3) 主体性・多様性・協働性
 - 目標に向かう行動力、やり抜く力
 - 他者との相互理解に基づき他者を巻き込みつつ、他者に貢献する態度
 - 多文化教育環境を十分に活用し「多文化協働学修」に参画する意欲

アジア太平洋学部

- 1) アジア太平洋地域を中心にグローバルな社会における「環境・開発」「観光学」「国際関係」「文化・社会・メディア」についての興味・関心
- 2) 多くの情報を統合し、多角的に物事を考え、それをまとめあげる力

国際経営学部

- 1) グローバル経営についての興味・関心
- 2) 社会的責任を理解し、世界市民としてアジア太平洋地域を中心に世界の発展に貢献する意欲

入学者選抜においては、APUにおける学びに適した学部学生を受け入れるために、上記の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を総合的に判断する多様な入学者選抜を行う。

APUの入試の特色

多様な入試方式があるため、あなたの「得意」を活かした方法で受験できる!

- 総合型選抜 ⇒ 世界を変える人材育成入試～ロジカル・フラワー・チャート入試～、総合評価入試、活動実績アピール入試
- 海外就学経験者（帰国生）入試
- 国際バカロレア（IB）入試
- 一般選抜 共通テスト方式 ⇒ 【2月】7科目型・5科目型・3教科型、【3月】後期型
本学独自試験 ⇒ 【2月】前期方式 [スタンダード3教科型]、英語重視方式、共通テスト併用方式
【3月】後期方式、共通テスト+面接方式

英語外部資格試験のスコアを活用できる!

- 総合型選抜 ⇒ APUでの学びに向けたアピールとして活用することができます。
なお、一部の入試方式では出願資格としています。
- 一般選抜 ⇒ 共通テストを利用する方式で、一定の基準を満たしたスコアを「外国語」科目の満点に換算します。

※詳しくは一般選抜の入学試験要項で確認してください。

入学時期を4月入学とするか、9月入学とするか選択できる!

- 高等学校の卒業時期に合わせて、4月入学と9月入学を選択できます。
- ギャップイヤーの活用など、自らの学びの設計に合わせて、4月入学と9月入学を選択できます。

学費負担が軽減されるAPU独自の奨学金制度を設定!

- 国内学生優秀者育英奨学金 ⇒ 入学試験の成績優秀者に支給します。2021年度入試（4月入学）の入学者の16人に1人が本奨学金の受給資格を得て入学しました。
- 国の高等教育の修学支援新制度の発足に伴い、「APU国内学生授業料減免」制度を導入しました（入学後に申請）。

オンラインでの試験・面接の実施に切替／一般選抜は最寄りの試験地で受験できる!

- 総合型選抜の試験および面接は全てオンラインで実施します。
また海外就学経験者（帰国生）入試や国際バカロレア（IB）入試も全てオンラインで面接を実施します。
- 一般選抜（本学独自試験）は全国33試験地で受験をすることができます。

入試方式一覧

あなたの「得意」や状況に合った入試方式を見つけましょう！

総合型選抜

高校時代に取り組んだ「探究的な学び」で深めた思考力を活かしたい！

▶ 「世界を変える人材育成入試」～ロジカル・フラワー・チャート入試～ ⇒P7

高校時代に取り組んだ活動（英語外部資格試験・課外活動・留学経験等）をアピールしたい！

▶ 「活動実績アピール入試」 ⇒P9

小論文対策を活かしつつ、APUでの学びや様々な活動への意欲を面接でアピールしたい！

▶ 「総合評価入試」 ⇒P11

海外就学経験者 入試

海外での学習経験、生活を通して得た学びをアピールしたい！

▶ 「海外就学経験者（帰国生）入試」 ⇒P12

※総合型選抜を併願することもできます

国際バカロレア 入試

高校時代に取り組んだ国際バカロレア（IB）のディプロマ取得に至る学びをアピールしたい！

▶ 「国際バカロレア（IB）入試」 ⇒P13

一般選抜

得意な教科を活かして受験したい！

▶ 本学独自試験「前期方式」「英語重視方式」「共通テスト併用方式」 ⇒P14

国公立大学受験対策を活かして受験したい！

▶ 大学入学共通テストを利用した各方式 ⇒P15

3月入試で最後まで頑張りたい！

▶ 本学独自試験「後期方式」／共通テスト利用「共通テスト+面接方式」
「共通テスト方式（後期型）」 ⇒P16

秋期入試

9月に入学をしたい！

▶ 「秋期・世界を変える人材育成入試」～ロジカル・フラワー・チャート入試～
「秋期・活動実績アピール入試」「秋期・海外就学経験者（帰国生）入試」
「秋期・国際バカロレア（IB）入試」 ⇒P24

入学基準言語について

APUの教育の特色のひとつが、日本語と英語で授業を開講する「日英2言語教育」です。

入学希望者は、入学試験への出願時に入学基準言語として「日本語基準」か「英語基準」のいずれかを選択する必要があります。

日本語基準とは？

日本国内の高校を卒業した学生の大多数は、日本語基準で受験し、入学しています。

1～2回生時は日本語で行われる教養科目や専門教育科目を履修します。また同時に必修言語科目として「英語」を履修し、英語力を伸ばしていくことで、3～4回生時は英語で行われる授業の履修数を増やしていきます。

なお、卒業をするためには英語で行われる教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得する必要があります。

英語基準とは？

出願書類の記入から面接など全ての入試選考を英語で実施し、入学当初から英語で行われる教養科目や専門教育科目を履修します。

そのため、中学・高校に相当する過程において英語で教育を受け、英語の方が授業が履修しやすい方が該当します。

なお、必須言語科目は「日本語」となりますが、日本語基準学生のような卒業要件はありません。

各入試方式における英語外部資格試験の出願資格について

各入試方式における英語外部資格試験の出願資格は下記のとおりです。

英語外部資格試験スコアについて

※英語外部資格試験のスコア等は、証明書に記載された受験日が、2019年10月1日以降のものを有効とします。

	TOEFL iBT®	TOEIC® (L&R/S&W)	IELTS (Academic Module)	実用英語技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ英検	PTE Academic
活動実績アピール入試出願資格(カテゴリーA-英語能力)	42	1150	4.0	2級	225	420	960	140	38
国際バカロレアIB入試(日本語基準)出願資格	42	1150	4.0	2級	225	420	960	140	38
一般選抜における外国語特例措置(満点換算)	72	1560	5.5	準1級	309	600	1190	160	48
1回生英語基準入試出願資格	75	1600	6.0	準1級	318	630	1215	169	50
2回生編転入 日本語基準出願資格	55	1340	5.0	準1級	—	—	—	149	42
3回生編転入 日本語基準出願資格	61	1420	5.5	準1級	—	—	—	153	45
2・3回生 編転入英語基準出願資格	85	1730	6.5	1級	—	—	—	176	58

※TOEFL iBT® Testは、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Data Scoresのみを採用し、My Best™ Scoresは採用しません。

※TOEIC® (L&R/S&W)については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。

※IELTSについては、「1回生英語基準」は各項目が5.5以上であること、「2・3回生編入学・転入学英語基準」は、各項目が6.0以上であることとします。

<その他詳細については、入学試験要項で確認してください。>

出願から合格発表までの流れ

出願
合格発表

① 事前準備

インターネットに接続されたパソコン・スマートフォンなどを用意する。
入学試験要項で出願資格や必要書類・写真データなどを確認し、用意する。

② インターネット出願サイトへアクセス

受験生サイト APUmate からアクセス

③ 出願登録

各入試の出願期間開始日の13時から最終日の17時まで登録が可能です。
「入学基準言語」「APハウス入寮希望」「国内学生優秀者育英奨学金希望」はここでしか登録できません。

APハウス入寮申込

④ 入学検定料(受験料)の支払い

クレジットカード、コンビニエンスストア、
金融機関ATM(ペイジー)、
ネットバンキングのいずれかでお支払いください。

⑤ 出願書類を郵送(速達・簡易書留)

出願完了

⑥ 受験

❗ 筆記試験・面接は全てオンラインで実施します。
受験票をインターネット出願サイトから印刷してください。

選考

⑦ 合格発表

合格発表日の13時からオンライン合否照会で通知します。
合格発表日の13時から3日間(72時間) 本学ホームページ上で合格者受験番号一覧の掲示を行います(最終合否のみ)。
APハウス入寮選考結果、国内学生優秀者育英奨学金選考結果もオンライン合否照会で確認してください。

結果通知

国内学生入試の受験で特別な支援を必要とする方へ

本学の国内学生入試では、障がいなどの状況に応じて受験上の配慮が手配される場合があります。

受験上の配慮を希望される場合は、申請書の提出が必要です。詳細は「受験生サイト APUmate」をご確認ください。



APU 入試日程カレンダー

入試日程をよく確認のうえ、最適な受験スケジュールを組んでください。

出願期間 試験日 合格発表

		2021年9月	10月	11月	12月	2022年1月	2月	3月	
4 月 入 学	世界を 変える人材 育成入試	第1回	9/1~14	10/3 または10/23 または10/24	11/2				
		第2回		10/27~11/9	11/28	12/18 または12/19	1/11		
	総合評価 入試	第1回	9/1~14	10/2 または10/23 または10/24	11/2				
		第2回		10/27~11/9	11/27	12/18 または12/19	1/11		
	活動実績 アピール 入試	第1回	9/1~14	10/9 または10/10	11/1				
		第2回		10/20~11/2	11/20 または11/21	11/30			
		第3回				12/1~14	1/22	2/1	
	海外就学経験者 (帰国生) 入試	第1回	9/1~14	10/20~22	11/2				
		第2回			11/10~24	12/15~17	1/11		
第3回					12/1~14	1/19~21	2/1		
国際バカロレア (IB) 入試	第1回		10/20~11/2	11/24~26	12/7				
	第2回			11/10~24	12/15~17	1/11			
2~3回生 編入学 転入学	第1回	9/1~14	10/20~22	11/2					
	第2回		10/20~11/2	11/24~26	12/7				
	第3回				12/1~14	1/19~21	2/1		
一 般 選 抜	前期方式					1/6~22	2/1~4	2/17	
	英語重視方式					1/6~26	2/7	2/20	
	共通テスト併用方式					1/6~26	2/8 または2/9	2/20	
	後期方式						2/12~25	3/7	3/17
	共通テスト+面接方式						2/12~25	3/8	3/17
	共通テスト方式 (後期型以外)					1/6~14	2/17		
	共通テスト方式 (後期型)						2/12~3/1	3/17	

		2021年10月	11月	12月	2022年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
9 月 入 学	秋期・ 世界を変える 人材育成入試	第1回							5/11~24	6/18	7/9 または7/10	7/19
		第2回		11/10~24	12/18 または12/19	1/11						
	秋期・活動実績 アピール入試	第1回						3/9~22	4/23	5/10		
		第2回										
		第3回								5/25~6/7		7/9 または7/10
	秋期・海外 就学経験者 (帰国生) 入試	第1回			12/1~14	1/19~21	2/1					
		第2回					2/9~22	3/23~25	4/5			
		第3回						4/6~19	5/18~20	5/31		
	秋期・国際 バカロレア(IB)入試	第1回					3/9~22	4/20~22	5/10			
	秋期・2~3回生 編入学/転入学	第1回			12/1~14	1/19~21	2/1					
		第2回					2/9~22	3/23~25	4/5			
		第3回						4/6~19	5/18~20	5/31		

世界を変える人材育成入試 ～ロジカル・フラワー・チャート入試～

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

※海外で就学された方も受験可

趣 旨

自分なりの「問い」を立て、自分なりの「方法」で、自分なりの「答え（最適解）」を見つける力（探究型の資質や能力）を評価します。入学後の学修について自分なりの目標を掲げ、より良い世界の実現に向かって他者とともに取り組むことのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査 +

筆記試験

与えられた資料から、自分なりの「問い」を立て、自分なりの答え（仮説）を設定した上で、設問に解答（試験時間120分）

第1次選考
合格者

■ 第2次（最終）選考

個人面接（約20分）
（口頭試問を含む）

❗ 選考・評価のポイント

（出願書類）

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力

（筆記試験）

- 着眼点や読解力、発想力、論理性などを踏まえた探究的な物の見方や考え方の基礎的素養 など

❗ 選考・評価のポイント

- 出願書類と筆記試験の解答内容に基づく質疑応答
- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや、探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考			第2次（最終）選考		合格発表日
		試験日	試験地	結果通知日	試験日*	試験地	
第1回	2021年 9月1日(水)～ 9月14日(火)	10月3日(日)	オンライン	10月15日(金)	10月23日(土) または 10月24日(日)	オンライン	11月2日(火)
第2回	2021年 10月27日(水)～ 11月9日(火)	11月28日(日)	オンライン	12月10日(金)	12月18日(土) または 12月19日(日)	オンライン	2022年 1月11日(火)

* 第2次（最終）選考の試験日は、本学が指定します。

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます（同日実施の方式でも併願できます）。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業または2022年3月31日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

APハウス(国際教育寮)について

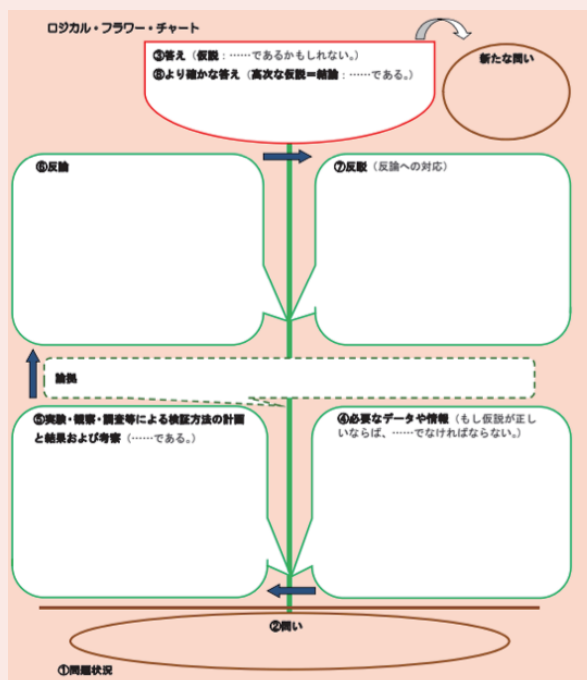
世界を変える人材育成入試～ロジカル・フラワー・チャート入試～の合格者は、APハウス選考において優先的に入寮を許可します。

ロジカル・フラワー・チャートとは？

考えるべき問題を見つけ、その問題がなぜ起きているのか（どうすれば解決できるのか）について仮説を立て、その仮説が正しいかどうか、誰もが理解できるような方法で論証・検証し、結論を導くという探求的なプロセスをモデル化したものです。

そのプロセスを図式化すると、下の図のような花の形になるため、「ロジカル・フラワー・チャート」と呼ばれます。

ロジカル・フラワー・チャートに関する詳細な説明はこちら



この方式の対策は？

- 本学では、大学受験時点でロジカル・フラワー・チャートの全てを完全な形で作成できるところまでは求めていません。ロジカル・フラワー・チャートを活用して探求的な学びの基礎を身につけていれば、大学入学後の学びの質が高まることを期待しています。したがって、受験生サイトAPUmatelに記載している「解答のポイント」を参考にして、

まずは

- ① 社会的に価値のある「問い」を立てること
- ② その「問い」に対応した仮説を筋道立てて説明できる練習をすること

が必要です。

また、普段から身の周りの出来事に関心を持ち、「Why」をキーワードに「問い」を立てる練習を心掛けましょう。



解答のポイントの詳細はこちら

活動実績アピール入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。
※海外で就学された方も受験可

趣 旨

中学卒業後から出願時までに修得した英語能力や海外留学等の国際経験をはじめ、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなど、さまざまな分野での活動実績・成果と、入学後の活動意欲や学修意欲を評価します。入学後の学修および正課外活動の両立を高いレベルで実現することをめざす人はもちろん、活動は継続しなくても、意欲的な取り組みにより培われた能力を活かし、入学後の生活を積極的に進めることのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」を英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性・説得力
- 言語能力 ●コンクール・大会等での活動成果
- 海外での学習成果 ●取得資格等の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返りなど

第1次選考 合格者



■ 第2次(最終)選考

個人面接(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか
- など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終)選考		合格発表日
			試験日*	試験地	
第1回	2021年 9月1日(水)～9月14日(火)	10月1日(金)	10月9日(土) または 10月10日(日)	オンライン	11月1日(月)
第2回	2021年 10月20日(水)～11月2日(火)	11月12日(金)	11月20日(土) または 11月21日(日)	オンライン	11月30日(火)
第3回	2021年 12月1日(水)～12月14日(火)	2022年 1月14日(金)	1月22日(土)	オンライン	2月1日(火)

*第1回と第2回の第2次(最終)選考の試験日は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当し、かつ(3)(4)のいずれかに該当する者。また、英語基準出願者は(5)も満たすこと。

- 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- 高等学校(中等教育学校を含む)を2020年4月1日から2022年3月31日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

(3) 【カテゴリーA(英語能力・留学経験アピール)】

次の①～③のいずれかに該当する者。

- 英語能力に関して、TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。
- International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- 外国における高等学校に相当する課程で、正規の教育制度に基づき通算3ヵ月以上の教育を受けた者。

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア
P.4へ

(4) 【カテゴリーB(言語・学芸・社会活動・スポーツ等アピール)】

中学卒業後から出願時までの諸活動において優れた実績を持つ者*1で、高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上の者*2。また、数学について、少なくとも「数学I」ならびに「数学A」を履修し、単位を修得している、または修得見込みである者。

(アピールできる諸活動は最大3件までとし、2017年4月2日以降のものに限ります。)

*1 次ページの「活動実績評価の目安」を参照ください。

*2 高等学校に相当する課程で、日本と日本国外の両方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上必要です。

【英語基準出願者のみ】

- 英語能力に関して次の①～③のいずれかに該当する者。

- TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
- International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者など十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
P.4へ

出願するカテゴリー以外の活動実績もアピールすることが可能です。提出された活動実績は3つまで評価します。なお、これらはいくまでも目安です。下表の活動以外でもアピールすることが可能です。ただし、個別の活動や証明書について、実績または証明として成立するかどうか大学にお問い合わせいただいても回答できません。志願者自身で判断して提出してください。

分野(例)	本学が入学者に求める活動実績・成果の水準(目安)
英語関連資格	TOEFL iBT® Test 61点程度 (TOEIC® L&R/S&W TEST 1420点、IELTS (Academic Module) 5.5、実用英語技能検定準1級、GTEC 1115点、TEAP 280点、TEAP CBT 535点、ケンブリッジ英検 153点等)、PTE Academic 45点
言語	<ul style="list-style-type: none"> ●【中国語】中国語検定4級、実用中国語技能検定4級、HSK2級 ●【韓国語】韓国語能力検定2級、「ハングル」能力検定4級 ●【スペイン語】スペイン語技能検定4級 ●【上記以外の言語】スピーチコンテスト参加
留学経験	●3か月以上の海外留学経験および留学先での優秀な学業成績・成果
生徒会活動 ボランティア 自主活動等	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒会(会長・副会長等執行部)の活動や、社会的に評価を得た(新聞に掲載された等)その他社会的な活動(ボランティア等) ●「日本の次世代リーダー養成塾」等、高校生対象の人材育成プログラムへの参加実績 ●高校生を対象とする弁論・スピーチ、ビジネスプラン、課題学習等各種コンテストでの入賞歴
文化・芸術	●都道府県大会レベル以上のコンクール・コンテストへの出場経験、およびその成果 ※活動分野は特に限定しません。
スポーツ	●都道府県大会レベル以上の試合・競技会等への選手(競技者)またはチームマネージャー等としての出場経験、およびその成果 ※種目は特に限定しません。
学術	<ul style="list-style-type: none"> ●スーパーグローバルハイスクール(SGHアソシエイト含む)での活動による研究会や発表会でのポスターセッション、研究発表の成果(ただし、成果物のコピー等に加え、主催者や教員からの推薦書、評価書等の客観評価資料<書式は自由>を添付すること。) ●社会的に評価を得た学術分野の諸活動における取り組みやその成果
各種資格等	<ul style="list-style-type: none"> ●基本情報技術者試験合格、日商簿記2級以上、日商珠算能力検定1級 ●2年以上の公公式学習履歴があり、公文認定テストの高校基礎課程テスト(または最終教材修了テスト)で英語を含む2教科以上に合格

※過年度合格者の活動実績・成果【一部のみ】

- 1年間アメリカ合衆国留学、TOEFL iBT® Test 74点、高校生英語ディベートコンテスト県準優勝
- 1年間オーストラリア留学、模擬国連会議地区大会参加
- タイでのボランティア・スタディツアー参加
- 日本の次世代リーダー養成塾参加
- 実用英語技能検定準1級、生徒会長、県高校体育大会(馬術競技)2位
- 全国高校総合体育大会(水球)ベスト8
- 吹奏楽県コンクール金賞、全国高等学校総合文化祭文化連盟賞
- 全国高校将棋選手権女子個人の部優勝、将棋部部长

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて中止・延期等となった大会や資格・検定試験等について
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて中止・延期等となった大会や資格・検定試験等について「活動実績報告書」に記載する場合は、中止・延期等となった事実に加えて、それらの大会や資格・検定試験等に参加を予定していたり、そのために準備していたりしたことを客観的に示す資料を作成し、提出してください。

この方式の対策は？

- 3か月以上の短期留学でもアピールできます。留学で伸ばした語学力も資格をとってアピールしましょう。
- 語学の資格とクラブ活動での入賞など、複数の活動実績をアピールすることもできます。
- 語学の資格がなくても他の活動で実績があれば積極的にアピールしましょう。
- エッセイは、自らを振り返り、経験を通じて成長したことや困難をどの様乗り越えることができたかなどを具体的に表現しましょう。
- 面接では志望理由や活動のアピールも大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。

総合型選抜

総合評価入試

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で確認してください。
※海外で就学された方も受験可

趣 旨

志望学部への関心や入学後の学修等への意欲、自らの思考や意見を表現する力を問う選考を通じて、入学後の成長の可能性を総合的に評価します。
入学後の具体的な学修計画と目標を掲げ、その実現に向けて意欲的に取り組むことのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査 +

筆記試験（小論文）

社会で生起する様々な問題に関する評論文・エッセイ等の課題文を読み、小論文を作成（試験時間90分、記述量1,200字）

！ 選考・評価のポイント

- 〈出願書類〉
- 志望学部への興味・関心
 - 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力
- 〈筆記試験（小論文）〉
- 課題文に対する読解力
 - 論理的思考力
 - 文章表現力
- など

第1次選考
合格者

■第2次（最終）選考

個人面接（約20分）

！ 選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考			第2次（最終）選考		合格発表日
		試験日	試験地	結果通知日	試験日*	試験地	
第1回	2021年 9月1日(水)～ 9月14日(火)	10月2日(土)	オンライン	10月15日(金)	10月23日(土) または 10月24日(日)	オンライン	11月2日(火)
第2回	2021年 10月27日(水)～ 11月9日(火)	11月27日(土)	オンライン	12月10日(金)	12月18日(土) または 12月19日(日)	オンライン	2022年 1月11日(火)

* 第2次（最終）選考の試験日は本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます（同日実施の方式でも併願できます）。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業または2022年3月31日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

この方式の対策は？

- 志望理由書は「なぜAPUで学ぶのか」「あなたの将来とAPUの学びはどう繋がるのか」などについて、自分の考えを整理しましょう。
- 小論文対策をしっかりとしてください。
本学の小論文は一般的な「小論文試験」と言われるものと大きな違いはありません。高等学校等での学習にしっかりと取り組むことに加えて、普段からご自身の興味関心に合わせて、本や新聞を読んでおくことが重要です。その上で、自分の考えを文章にまとめること、またそれを誰かに読んでもらい批評してもらうことも対策になるでしょう。また課題文の内容やポイントを正確かつ素早く把握することも重要です。設問の意図を理解して、自分の主張を論理的に表現する練習をしましょう。
- 面接では志望理由も大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。



過去の出題例は
こちら

海外就学経験者(帰国生)入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

海外での学習・生活経験や、その後の日本での学修活動などを総合的に評価する入試方式です。言語や文化の異なる国・地域での体験を活かして、将来活躍したいという思いを持つ人は、積極的にチャレンジしてください。なお、面接はオンライン利用のため、海外在住の方でも一時帰国する必要はありません。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。

第1次選考
合格者

■ 第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。

❗ 選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 海外における経験の豊かさとその成果
- 高等学校に相当する課程での学習成果
- 言語能力の水準
- エッセイ:高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

❗ 選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終)選考試験日 ※下記の期間から本学が 日時を指定します。	合格発表日
第1回	2021年 9月1日(水)~9月14日(火)	10月15日(金)	10月20日(水)~10月22日(金)	11月2日(火)
第2回	2021年 11月10日(水)~11月24日(水)	12月10日(金)	12月15日(水)~12月17日(金)	2022年 1月11日(火)
第3回	2021年 12月1日(水)~12月14日(火)	2022年 1月14日(金)	1月19日(水)~1月21日(金)	2月1日(火)

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

日本国籍を有する者(日本に永住権を持つ者を含む)であって、次の(1)~(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を2019年4月1日から2022年3月31日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。
- (3) 外国において、正規の教育制度に基づく中学校・高等学校(Grade7以上)にあたる課程で2022年3月31日までに通算2年以上の教育を受けた、または受ける見込みの者。

[英語基準出願者のみ]

- (4) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。
 - ① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
 - ② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
 - ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
P.4へ

この方式の対策は?

- 志望理由書、エッセイの作成時や面接では、日本国外で生活をし、教育を受けたことでどのような成長ができたのかをよく考えましょう。
- APUに入学した後で、自分の経験をどのように活用するのか考えてみましょう。
- 居住していた国や地域で使用していた言語の資格を取得していれば積極的にアピールしましょう。
- 30分の面接は長く感じるかもしれませんが、志望理由を深めるだけでなく、さまざまな社会情勢にアンテナを張って考えを深めておくことも役に立つでしょう。

国際バカロレア (IB) 入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

International Baccalaureate (IB) のディプロマの取得 (または取得見込) 者を対象とし、ディプロマ取得に至る学びを評価する入試方式で、APUでのさらなる学びを通して世界で活躍する人材に成長することを期待しています。
なお、面接はオンライン利用のため、海外在住の方でも一時帰国する必要はありません。

選 考 方 法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲や熱意、記述の論理性や説得力
- 課題論文 (EE:Extended Essay) の内容 など

第1次選考
合格者



■ 第2次 (最終) 選考

個人面接 (オンライン30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 課題論文 (EE:Extended Essay) 等の出願書類をもとに、APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや探究的な物の見方や考え方 など

出 願 期 間 試 験 日 合 格 発 表 日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次 (最終) 選考試験日 ※下記の期間から本学が 日時を指定します。	合格発表日
第1回	2021年 10月20日 (水) ~ 11月2日 (火)	11月19日 (金)	11月24日 (水) ~ 11月26日 (金)	12月7日 (火)
第2回	2021年 11月10日 (水) ~ 11月24日 (水)	12月10日 (金)	12月15日 (水) ~ 12月17日 (金)	2022年 1月11日 (火)

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます (同日実施の方式でも併願できます)。

出 願 資 格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)~(3)のすべてに該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得した者または2022年3月31日までに取得する見込みの者。
- (3) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。
 - ① International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得または取得見込みの者。
 - ② **[日本語基準出願者]**
TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。 **TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア** [P.4へ](#)
 - ③ **[英語基準出願者]**
TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。 **TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア** [P.4へ](#)
- ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目 (言語教育科目を除く) を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

2022年3月31日までに、International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得できなかった者は、合格した場合であっても入学資格を取り消します。

APハウス (国際教育寮) について

国際バカロレア (IB) 入試の合格者は、APハウス選考において優先的に入寮を許可します。

この方式の対策は?

- International Baccalaureate (IB) のディプロマ取得に至る学びについて、説得性をもって説明できるようにしておきましょう。
- APUに入学した後で、自分の学習経験をどのように活用するのか考えてみましょう。

2月入試 ● アジア太平洋学部 (APS) ・国際経営学部 (APM)

前期方式[スタンダード3教科型] 【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

「3教科で総合的に評価する」APUのスタンダード入試

3教科の合計点で合否判定を行う方式。試験日が異なれば複数回の受験もできます。試験日・学部を問わず、出題形式・問題傾向は同じです。

※国語：国語総合、現代文B、古典B（漢文の独立問題は出題しない。）



英語重視方式 【本学独自試験】

日本語
基準

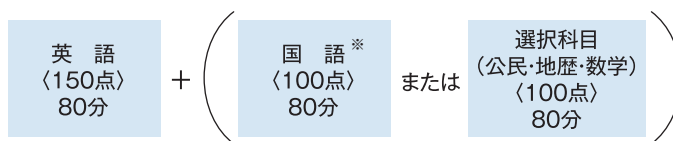
優秀者
奨学金

併願
可

「前期方式と同一の出題形式で英語力が活かせる」方式

英語・国語・選択科目の3教科を受験し、「英語の得点」+「国語または選択科目の高得点」の2教科で判定します。

※国語：国語総合、現代文B、古典B（漢文の独立問題は出題しない。）



大学入学共通テスト併用方式 【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

英語
特例

併願
可

「英語と国語(現代文)の本学独自試験に、大学入学共通テストの高得点を加えた合計点」で判定

大学入学共通テスト後に出願できるため高得点科目が活かれます。

大学入学共通テストの教科・科目		+ 全科目のうち 高得点1科目を採用	本学独自試験科目	
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>			英語
国語	「国語」			
数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」			
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」			
地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」			
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 <small>【注2】</small>		<100点> 80分	<100点> 80分
<100点>				

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくは、P.17をご覧ください。

【注2】「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.19をご覧ください。

前期方式・英語重視方式・大学入学共通テスト併用方式対策のポイント

- 本学の一般選抜は高校で学んだ基礎学力を求めるものです。これまでの学びを復習して基礎をしっかりと固めましょう。
- 過去問題に馴染み、解答の順番や時間配分を考えておくことも有効でしょう。
- 詳細な出願方針と学習のポイントはP.20~23をご覧ください。

一般選抜

2月入試 ● アジア太平洋学部 (APS) ・国際経営学部 (APM)

大学入学共通テスト方式

日本語
基準

優秀者
奨学金

英語
特例

併願
可

「大学入学共通テストの得点のみで合否を判定する」方式

高得点の教科・科目が活かされます。選択科目は高得点科目を自動的に採用します。

		大学入学共通テストの教科・科目		配点	
7科目型	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 [注1]		200点	
	国語	「国語」		200点	
	数学	「数学I・数学A」		100点	
	数学	「数学II・数学B」		高得点 4科目を採用	4科目で 400点 (各100点)
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目			
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」			
	理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 [注2]			

		大学入学共通テストの教科・科目		配点	
5科目型	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 [注1]		200点	
	国語	「国語」		200点	
	数学	「数学I・数学A」		200点	
	数学	「数学II・数学B」		高得点 2科目を採用	2科目で 400点 (各200点)
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目			
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」			
	理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」 「物理」「化学」「生物」「地学」から高得点1科目 [注2]			

		大学入学共通テストの教科・科目		配点		
				アジア太平洋学部	国際経営学部	
3教科型	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 [注1]		200点	150点	
	国語	「国語」		150点	150点	
	数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」		高得点 1科目を採用	150点	200点
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」				
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」				
	理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 [注2]				

※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.19をご覧ください。

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくはP.17をご覧ください。

【注2】「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

大学入学共通テスト方式の併願

各科目、教科型の併願はもちろん、両学部の併願もできます。

また、併願時の入学検定料は1出願目が18,000円、2併願目以降が各10,000円となります(後期型を除く)。

後期方式 【本学独自試験】

日本語基準

優秀者奨学金

併願可

「英語+国語の2教科」で実施

2月実施の入試結果を確認した後も出願できる英・国2教科で実施する方式です。

英語
(120点)
80分

国語
(現代文のみ)
(100点)
80分

後期方式の学部間併願

1回の受験で両学部の併願ができます。また、併願の場合の入学検定料は2併願目が10,000円となります。

大学入学共通テスト + 面接方式 【本学独自試験】

日本語基準

優秀者奨学金

英語特例

併願可

「大学入学共通テストの得点+面接により、基礎学力や意欲、適性を総合的に評価する」方式

大学入学共通テストの得点(300点)と面接の得点(100点)により、基礎的な学力に加えて志望学部への興味・関心や入学後の学修意欲等を総合的に評価します。なお、大学入学共通テストの得点率が60%(合計得点180点)以上であることが合格の必要条件となります。

大学入学共通テストの教科・科目		配点	+	本学独自試験	配点	試験時間
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	100点		+	面接 (オンライン) 出願時に提出をした 「志望理由書」の 内容に関する 質疑応答等	100点
国語	「国語」	100点				
数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」	高得点 1科目 を採用 1科目で 100点				
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」					
地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」					
理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 <small>【注2】</small>					

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくはP.17をご覧ください。

【注2】「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※ 大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.19をご覧ください。

⚠ 面接試験評価のポイント ●志望学部への興味・関心 ●入学後の学修計画の具体性 ●入学後の学修・正課外活動を含む学生生活全般への意欲等

大学入学共通テスト方式(後期型) 【本学独自試験】

日本語基準

優秀者奨学金

英語特例

併願可

「大学入学共通テストの得点のみで合否判定する」方式

アジア太平洋学部と国際経営学部の両学部を併願できます。

大学入学共通テストの教科・科目		配点
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	200点
国語	「国語」	200点
4科目型	数学「数学I・数学A」「数学II・数学B」から高得点1科目	高得点 2科目を採用 2科目で 400点 (各200点)
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目	
地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」	
理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」 「物理」「化学」「生物」「地学」から高得点1科目 <small>【注2】</small>	

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくはP.17をご覧ください。

【注2】「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※ 大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.19をご覧ください。

※ 教科・科目型について変更になる可能性があります。詳細は決定次第、本学「受験生サイト APUMate」にて公表します。

一般選抜

一般選抜 INFORMATION

2022年3月31日までに大学入学資格を持つ方を対象に一般選抜を実施します。
出願資格の詳細については2022年度一般選抜の「入学試験要項」で確認してください。

1 入試スケジュール

◆大学入学共通テスト方式[全学部共通]

		2月入試			3月入試		
教科・科目型		[7科目型]		[5科目型]	[3教科型]		
出願期間	インターネット*	1月6日(木)～14日(金)			2月12日(土)～3月1日(火)		
合格発表日		2月17日(木)			3月17日(木)		

◆本学独自試験[全学部共通]

試験日	2月							3月	
	1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	7日(月)	8日(火)	9日(水)	7日(月)	8日(火)
入試方式	前期	前期	前期	前期	英語重視	共通テスト併用	共通テスト併用	後期	共通テスト+面接
試験地	千葉(柏)・東京(市ヶ谷)・横浜・金沢・名古屋・滋賀(草津)・京都・大阪茨木・大阪南・神戸・広島・高松・福岡・大分							埼玉(大宮) 東京(八王子)	オンライン
出願期間	インターネット*				1月6日(木)～22日(土)			1月6日(木)～26日(水)	
合格発表日					2月17日(木)			2月20日(日)	
								2月12日(土)～2月25日(金)	
								3月17日(木)	

*調査書等の出願書類は、別途郵送が必要となります(出願期間最終日の消印有効)。

2 英語外部資格試験スコア等保持者への「外国語」の特例措置

TOEFL® Test、TOEIC® TEST等のスコアが基準以上であれば大学入学共通テストの「外国語」を満点とします。

下記①～⑥の入試方式で受験する者のうち、本学が指定する英語外部資格試験において下記の基準以上のスコア・等級を持つ方は、それらを証明する書類(コピー)を出願時に提出してください。大学入学共通テスト「外国語」の得点を満点と換算し、合否判定に用います。

【対象となる入試方式】対象となる入試方式には **英語特例** を表示しています。

- ①大学入学共通テスト方式 7科目型
- ②大学入学共通テスト方式 5科目型
- ③大学入学共通テスト方式 3教科型
- ④大学入学共通テスト併用方式
- ⑤大学入学共通テスト+面接方式
- ⑥大学入学共通テスト方式 後期型(4科目型)

●大学入学共通テスト「外国語」を満点として扱うスコア・級位

・TOEFL iBT® Test 72点相当以上

TOEFL iBT® Test 72点相当以上のスコア
P.4へ

3 学部・方式の併願

*入学検定料についてはP.30をご覧ください。

2月実施(本学独自試験)

[試験日が異なる場合]

- ①試験日が異なれば、学部や方式を問わず併願ができます。また、同一名称の方式でも、前期方式では最大4回、大学入学共通テスト併用方式では最大2回の出願ができます。
- ②複数の試験日に出願した場合(受験番号が複数ある場合)、受験番号ごとに合否判定を行います。

[同一試験日の場合]

同じ試験日に併願はできません。複数出願した場合は、実際に受験した受験番号・学部・方式のみ合否判定を行います。

3月実施(本学独自試験)

後期方式では1受験でアジア太平洋学部と国際経営学部を併願できます(入学検定料10,000円が別途必要)。また、「後期方式」と「大学入学共通テスト+面接方式」を併願することもできます。

大学入学共通テスト方式

2月実施と3月実施のいずれも学部間の併願ができます。また、2月実施では7科目型・5科目型・3教科型の併願ができます。

4 本学独自試験について

英語の出題範囲

- 英語（コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II）から出題します。

国語の出題範囲

- <前期方式・英語重視方式> ●国語総合、現代文B、古典B（漢文の独立問題は出題しません）
- <共通テスト併用方式・後期方式> ●国語総合（近代以降の文章）、現代文Bから出題します。

選択科目の出題範囲

- 政治・経済、日本史B、世界史B、地理B、数学（数学I・数学II・数学A・数学B（数列・ベクトル））を対象とします。

合否判定について

- 合否判定は各入試方式において定められた試験科目の合計点で行います。
- 複数回受験した場合、それぞれの受験について合否を判定します。

得点調整について

試験日や解答科目による問題難易度の差によって生じる不公平を是正するため、本学独自試験において以下の得点調整を行うことがあります。

- 同一方式の試験を複数の試験日で実施する場合は、科目ごとに試験日間の得点調整を行うことがあります。
- 「選択科目（公民、地理歴史、数学）」については、それぞれ科目間の得点調整を行うことがあります。
- いずれも、試験日や科目ごとの平均点および標準偏差の差を補正することができる統計的方式にもとづいて、個々の受験生の得点を調整します。

5 大学入学共通テストの科目の取り扱い

※過年度の成績は使用できません。

「令和4年度大学入学共通テスト」(以下、共通テスト)で受験した科目の成績を、共通テスト方式、共通テスト併用方式、共通テスト+面接方式で合否判定に使用します。本学の入学試験で使用できない科目や必要以上の科目数を受験しても構いませんが、出願する入試方式において定められた共通テストの科目を必要数受験してください。科目が不足する場合は合否判定の対象外となります。また、使用する科目を出願時に届け出る必要はありません。「高得点科目採用」は、各入試方式において定められた共通テストの科目を受験していれば高得点の科目から自動的に採用されます。

それぞれの入試方式で定められた科目の配点と共通テストでの配点異なる場合は得点換算を実施します。

■外国語

共通テストの「英語」は、【リーディング】(100点)と【リスニング】(100点)が出題されます。本学の入学試験では、下記(1)(2)のように取り扱います。

- (1) 【リーディング】100点満点を140点満点に、【リスニング】100点満点を60点満点に換算した合計で200点満点として取り扱います。
- (2) 各入試方式では、上記(1)により換算された得点を、当該の入試方式の配点に換算します。
また、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」もすべての学部で使用できます。

■国語

共通テストの「国語」は、近代以降の文章(2問100点)、古典[古文(1問50点)、漢文(1問50点)]で構成されています。本学の入学試験では、下記(1)(2)のうち高得点となる方を自動的に採用し、各方式の点数に換算します。なお、(1)(2)の採用について事前申請等は不要です。

- (1) 「近代以降の文章」と「古文」を合わせた150点満点を200点満点に換算。
- (2) 「近代以降の文章」「古文」「漢文」のすべてをあわせた得点で200点満点。

■数学

共通テストの「数学」は、数学①と数学②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。本学の入学試験では、数学①は「数学I・数学A」、数学②は「数学II・数学B」の得点を使用します。使用できる科目および使用方法は各入試方式のページで確認してください。主な使用方法は以下の通りです。

- (1) 「数学I・数学A」「数学II・数学B」から高得点1科目…高得点の1科目のみ採用候補とします。そのうえで各入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。
- (2) 「数学I・数学A」、「数学II・数学B」…いずれの科目も採用候補とします。そのうえで各入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。

■地理歴史・公民

共通テストの「地理歴史・公民」は1科目または2科目を選択して受験できます。本学の入学試験では、地理歴史(「日本史B」「世界史B」「地理B」)と公民の得点を使用します。なお、公民科目の得点は下記のように使用します。<「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目>
※2科目を受験していても採用は最高点1科目のみとします。

■理科

共通テストの「理科」は、以下の通り理科①と理科②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。

理科①:「物理基礎」「化学基礎」

「生物基礎」「地学基礎」

理科②:「物理」「化学」「生物」「地学」

理科①および理科②については、以下の選択方法を共通テスト出願時に申し出ることになっています。

- A: 理科①から2科目
- B: 理科②から1科目
- C: 理科①から2科目および理科②から1科目
- D: 理科②から2科目

理科①の『「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目』は、2科目の合計点を1科目の得点とみなして使用できます。

過年度の一般選抜試験問題を立命館アジア太平洋大学の入試情報サイトで公開しています。

受験生サイトAPUmate

<https://www.apumate.net/>

英語

全方式共通

(出題内容・形式・配点)

内容	形式	配点	試験時間
I 長文総合問題	マーク	29	80分
II 長文総合問題	マーク	31	
III 会話文	マーク	24	
IV 文法・慣用句	マーク	16	
V 語句選択英文完成	マーク	20	
合計		120	

*合計点が各学部(専攻等)および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

【出題の基本方針】

本学の諸学部において教育を受けるにふさわしい、基本的な英語力を備えた受験者を選抜するために、高等学校卒業段階で到達すべき英語力を公正に測定できる内容で出題することを基本方針とした。

【各設問の方針と内容】(全日程共通)

I 800語程度の英文をもとにした、大意把握と内容理解の力を試す問題である。[1]は、英文の意味・内容に関する問いが英語で提示され、[2]は、与えられた5つの文が英文の内容と一致するか否か、あるいは英文の内容からだけでは判断できないかを問う、より正確な内容理解を試す問題である。[3]は、英文を総合的に理解しているか(主旨の理解ができていないか)を問う。

II 800語程度の英文の内容理解を試す問題で、細部の正確な理解が要求される。[1]は文中の空所に当てはまる語(句)を選ぶ問題である。空所の直前・直後だけでなく、英文全体の話の流れを正確に把握する必要がある。[2]は英文の中の代名詞などの語(句)が、何を指しているか、何を意味しているかを、選ぶ問題である。何かを指示する語(句)が具体的に何を意味しているのかを意識的に考えながら読むことによって正確な理解ができていないかを試す。

III 二人の対話文をもとにした問題である。対話の中の空所を埋めるのにもっとも適当な表現を選択肢から選ぶ形式である。さまざまな場面で、話の流れを正確に掴みながら話し手の意向や気持ちなどを理解することができるか、また、適切な表現で応答し必要な情報を伝えることができるかを試す。人との関係を円滑にする(挨拶や呼び掛けなど)、相手の行動を促すなど、いろいろな言語の働きをする英語表現に親しんでおくことが必要である。

IV 文法事項に関する問題である。空所を埋めることによって英文を完成させる問題である。基本的なものを中心に、動詞、副詞、形容詞、接続詞、前置詞など様々な品詞に関して、適切な英語で表現する力を試す。

V 語彙に関する問題である。[1]は英文の空所を埋めるのにもっとも適当な単語を選ぶ形式で、文脈から語を導き出す問題であり、[2]は、文中の下線部と同じ意味の語を選択する同義語の問題である。教科書に出てくるような基本的語彙をはじめ、自立した英語使用者に必要な語彙を幅広く身につけておくことが期待される。単に単語の意味を知っているのではなく、その単語が英文の中でどのように使われるか、連語関係などにも注意を払いながら学習しているかが試される。さらに、その単語を他の単語で置き換えることができるかどうか試されている。一つの単語に対する一段と深い理解が必要となる。

学習のポイント

- 長文総合問題は、まず論理の流れを理解して文章の大意を取り、その後には今度は一つ一つのパラグラフが何を言っているのかをキーワードなどを使って短い語句で示し、内容を掴みながら次のパラグラフに進んで行くことが必要である。そうすれば、細かい部分も正確に把握でき、論理的な流れも正確に掴めるはずである。
- 会話文や表現については、普段からインターネット上にある会話動画や映画などにできるだけ楽しく親しむことも必要である。面白い表現などをノートに書き取って見直すのも役に立つだろう。1週間や1ヶ月毎に最初から見直し、実際に口に出して言うことも大切である。同じ状況に遭遇すれば、自然に言葉が出てくるであろう。
- 語彙は言語習得の基礎中の基礎である。CDやDVDがついている単語集やインターネット上にある単語学習プログラムなどを活用し、気に入ったものを選び、耳で聞き、同時に口ずさみ、目で確認し、意味を考えながら書くなど、全ての感覚を使って覚えることが効果的である。リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を総合的に伸ばす力になるだろう。

国語

前期方式・英語重視方式

〈出題内容・形式・配点〉

内 容	形 式	配 点	試験時間
一 現代文	マークと記述を併用	45	80分
二 現代文	マークと記述を併用	15	
三 古文	マークと記述を併用	40	
合 計		100	

〈問題選択について〉

方 式	学 部	解答する問題
前期・英語重視	アジア太平洋 国際経営	一、二、三

*合計点が各学部および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

【出題の基本方針】

高等学校の学習を基礎としつつ、大学入学後の学びをスタートするにあたって必要なレベルの文章読解力を問うように問題文を選び、出題している。現代文では、文章全体の流れの中で文章の読解が進み、主題の把握へとつながるように問いの順番を考慮して出題した。古文も文章全体の趣旨を正確に理解できるかどうか、受験生の読解力を問う問題を中心に出题し、読解の前提である文法や語彙などの基礎知識の習得がなされていることを確認するための問題も出題している。

学習のポイント

- 学習にあたっては、まず、文章全体の大意を把握し、そのうえで、文章の構成や、個々の文章・語句の位置づけを理解できるよう心がけること。
- 現代文では、特に評論文で使われる概念や比喩的な表現の理解が必要となる。普段から評論文を読み、頻出概念や比喩的な言い回しに慣れておくこと。ある程度の長さの評論文を短時間で理解する訓練をすること。
- 筆者独得の表現や考えが展開されることもある。先入見にとらわれず、文章中のキーワードを把握し、文章が示しているものを的確に理解することを心がけてほしい。
- 繰り返しや言い換えなどで強調されている箇所が作者の主張したい内容であることが多い。大意を理解するうえでの重要なポイントとして注目すること。
- 語彙・句法・表現技法などについては、普段から評論文に親しみ、初見の語句は辞書で調べる習慣を身につけたい。漢字については、同音異義語に注意するほか、丁寧かつ正確に書くように普段から心がけること。
- 文学史については、単なる作者や作品名の暗記ではなく、文学史の流れとして学習しておくこと。
- 古文は、基礎的な語彙や文法についての知識を身につけ、正確に意味を読み取れるように心がけること。主語となる動作の主体が誰か、敬語表現にも留意して丁寧な読解を心がけること。日記や物語の中の和歌の技法・形式についても注意しておくこと。

選択科目

政治・経済

〈出題内容・形式・配点〉

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 民主政治の基本原則	記述	35	80分
II 公害と環境保全、消費者問題	記述	35	
III 裁判所と司法	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

教科書に準拠しつつ、基本的知識ならびにその応用力を判定することを基本方針とした。また、政治、経済それぞれについて分野の偏りがないように工夫し、問題の違いによって難易度に大きく差が出ないように工夫した。

学習のポイント

- 教科書に準拠した出題であり、ことさら難問奇問が出題されるわけではない。毎日の授業をしっかり受け、基本事項の意味を正確に押さえながら教科書を精読することが重要である。
- 教科書に記載されていない事項についても、新聞やメディアの情報を通じて常に意識しておくことが、入学後の学修にも有益である。日頃から新聞やニュースを読む習慣を身につけておくことが望ましい。
- 毎年、漢字の間違いが非常に多い。記述式の解答が中心となっているため、用語・人名等を正確に書けるようにすることが必要である。

選択科目 日本史

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 平安時代の貴族文化	記述	30	80分
II 中・近世の都市遺跡、建造物	記述	30	
III 明治～昭和期の政党政治史	記述	40	
合 計		100	

【出題の基本方針】

基本的には教科書を中心とした学習を積み重ねることで得点できる内容・レベルの出題とした。一部教科書には掲載されていない史料を使用している問題もあるが、教科書レベルの内容を理解していれば解答できるように工夫してある。

出題範囲は、基本的にIは原始・古代、IIは中世・近世、IIIは戦後史を含む近現代史とし、複数の時代をまたぐ総合的問題やテーマ出題もおこなった。また、史料・図版・写真・歴史地図などを使用した設問など、歴史用語・人物・年代の丸暗記ではなく、歴史の流れや知識を論理的に考えることで正答に至るように工夫した。

学習のポイント

- 政治・経済・社会・文化史などの諸分野を幅広く学習することが重要である。
- 教科書を中心に諸事件・事象の流れと関係を論理的・文脈的に把握することが重要である。それと同時に教科書や史料集に掲載されている図版・表・写真などにも注意を向けてほしい。
- 史料集と教科書を併用することは極めて効果が高い。その史料の趣意を記した重要箇所は、用語を含めて内容を正確に理解しておきたい。また歴史地図などにも親しみ、地理的・立体的な知識の習得を心がけてほしい。
- 漢字のミス、不正確な記述が目立つ。事象・人名などを含めた歴史用語は正確な漢字を書く力を養う必要がある。
- 近年、戦後史の問題も一定程度の割合を占めるため、その系統立った正確な知識の習得が必要となる。

選択科目 世界史

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月3日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 北宋女流史	記述	20	80分
II 東アジア近代人物史	記述	20	
III 数学史	記述	30	
IV 第一次大戦から第二次大戦の歴史	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

高等学校における標準的な学習により世界史の知識を習得しているかを問うため、基本的に教科書・用語集・資料集に記載されている範囲から出題した。また、大学での授業を理解するにふさわしい文章読解力と論理的思考力が身につけているかを試すため、リード文の内容を正確に理解した上で解答する形での出題を心がけた。

学習のポイント

- 歴史の大きな流れと歴史的事象との因果関係をよく意識して世界史を捉えることが重要である。歴史用語や年号を暗記することも大切ではあるが、各事象の相互の関連性を理解できるよう系統立てて学習すること。
- 用語を正確に書けるようにすること。中国史では常用漢字以外の漢字も頻出するが、歴史用語である以上、正確に書けるように練習すること。西洋史においても、人名や地名のカタカナ表記は教科書などに準拠して正確に覚えておくこと。
- 時事問題に絡んだ問題が毎年よく出題されるので、ニュースを見ながら自分でその歴史的背景や意味を考え、まとめておくことを勧める。
- 歴史上の都市や地域が現在のどのあたりに存在していたのか、地図上で正確に把握しておくことが重要である。地名だけを暗記するのではなく、歴史地図などを併用して、歴史的事象と結びつけながら学習すること。

選択科目 地理

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月7日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 地形図の読図	記述	34	80分
II 東ヨーロッパ	記述	33	
III 世界の航空交通	記述	33	
合 計		100	

【出題の基本方針】

教科書・地図帳・副教材・統計書に掲載された基本的事項を体系的に地図に即して理解している受験生が、実力を発揮できるように配慮したほか、単なる暗記ではなく、地図をもとに、事象を全体の中で把握したり考えたりする学力を推し量れるように工夫した。また、地形図を含む読図能力、系統的な事項の理解力、地誌的な総合的解釈力を問うものをバランスよく配置した。さらに時事的問題や社会的関心が高まっている問題に対しても、地理と関連づけた思考力が日頃から養われているかを問う設問を各所に配置した。

学習のポイント

- 教科書を熟読することがまず重要である。その際に、地図帳を用いて、位置を正しく把握することを心掛けるべきである。
- 地理の問題は、系統地理・地誌・読図に大別される。読図に関しては、等高線を理解し、記号を覚えることが基本的に重要である。できれば身近な地域に関して、地形図をもって歩き観察することで、地形図と実際の状況を対比できる。それが読図力を涵養する方法の一つである。
- 統計とグラフに関しても基本を学習する必要がある。折れ線グラフ・棒グラフなどを読み取る力を養成してもらいたい。
- 漢字を正しく表記し、論理的で、他人が読んでわかる文を書けるようにすべきである。

選択科目 文系数学

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 3次関数の応用、図形と計量、数列	記述	40	80分
II 確率・対数・微分	記述	30	
III 確率・漸化式	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

高校数学における数学I、数学A、数学II、数学B(ベクトルと数列)の学習指導要領の範囲内において、受験生の基礎知識の習得を確認すると共に、その基礎知識を応用する力、論理的な思考能力、そして文章を読み取り、その状況を数学を用いて表現する力をみる問題を出題した。公式をそのまま使って解くような基本問題は最小限にとどめ、解答に工夫が求められる応用問題を中心に、数学I、II、A、Bの各分野から満遍なく出題した。

学習のポイント

- 教科書の内容を徹底的に学習し、基礎・基本を身に付けることが何より重要である。併せて、発展問題にも挑戦することで、思考力や洞察力を養うことが大切である。
- 定義や公式の単純な適用では解けないような複雑な問題に対応するためには、定義や公式を単純に暗記するだけでなく、それらの意味や導出過程、構造を深く理解することが大切である。
- 文章の読解力や表現力といった国語力を高める必要がある。大問IIでは長い文章を丁寧に読み解く力が、大問IIIでは解答のプロセスを論理的に記述する力が試される。普段から新聞や書籍を読み、論理的な文章を書く訓練を日々繰り返すことが肝要である。
- 社会的な様々な問題を数学的に表現することで、問題の本質を抽象化し、洞察し、考える問題を大問IIでは出題している。社会問題にも関心を持ち、それについて考える習慣を持ち、幅広い教養を身につけることは、どの教科にとっても大切である。
- 文字を丁寧に正確に書くことを習慣づける。一般的に答案とは、採点する人に、自分の思考過程やその結果を評価してもらうものである。

秋期・世界を変える人材育成入試 ～ロジカル・フラワー・チャート入試～

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

※海外で就学された方も受験可

趣 旨

自分なりの「問い」を立て、自分なりの「方法」で、自分なりの「答え(最適解)」を見つける力(探究型の資質や能力)を評価します。入学後の学修について自分なりの目標を掲げ、より良い世界の実現に向かって他者とともに取り組むことのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査 +

筆記試験

与えられた資料から、自分なりの「問い」を立て、自分なりの答え(仮説)を設定した上で、設問に解答(試験時間120分)



選考・評価のポイント

(出願書類)

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力

(筆記試験)

- 着眼点や読解力、発想力、論理性などを踏まえた探究的な物の見方や考え方の基礎的素養 など

第1次選考
合格者



■第2次(最終)選考

個人面接(約20分)
(口頭試問を含む)



選考・評価のポイント

- 出願書類と筆記試験の解答内容に基づく質疑応答

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや、探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考			第2次(最終)選考		合格発表日
		試験日	試験地	結果通知日	試験日*	試験地	
第1回	2022年 5月11日(水)～ 5月24日(火)	6月18日(土)	オンライン	7月1日(金)	7月9日(土) または 7月10日(日)	オンライン	7月19日(火)

*第2次(最終)選考の試験日は本学が指定します。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1)出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2)高等学校(中等教育学校を含む)を卒業または2022年9月20日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

APハウス(国際教育寮)について

秋期・世界を変える人材育成入試～ロジカル・フラワー・チャート入試～の合格者は、APハウス選考において優先的に入寮を許可します。

この方式の対策は?

- 本学では、大学受験時点でロジカル・フラワー・チャートの全てを完全な形で作成できるところまでは求めていません。ロジカル・フラワー・チャートを活用して探求的な学びの基礎を身につけていれば、大学入学後の学びの質が高まることを期待しています。したがって、受験生サイトAPUmateに記載している「解答のポイント」を参考にして、

まずは

- ①社会的に価値のある「問い」を立てること
- ②その「問い」に対応した仮説を筋道立てて説明できる練習をすることが必要です。

また、普段から身の周りの出来事に関心を持ち、「Why」をキーワードに「問い」を立てる練習を心掛けましょう。



解答のポイントの
詳細はこちら

秋期・活動実績アピール入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。
※海外で就学された方も受験可

趣 旨

中学卒業後から出願時までには修得した英語能力や海外留学等の国際経験をはじめ、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなど、さまざまな分野での活動実績・成果と、入学後の活動意欲や学修意欲を評価します。入学後の学修および正課外活動の両立を高いレベルで実現することをめざす人はもちろん、活動は継続しなくても、意欲的な取り組みにより培われた能力を活かし、入学後の生活を積極的に進めることのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」を英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性・説得力
- 言語能力 ●コンクール・大会等での活動成果
- 海外での学習成果 ●取得資格等の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

第1次選考 合格者



■ 第2次(最終)選考

個人面接(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終)選考		合格発表日
			試験日*	試験地	
第1回	2021年 11月10日(水)~11月24日(水)	12月10日(金)	12月18日(土) または 12月19日(日)	オンライン	2022年 1月11日(火)
第2回	2022年 3月9日(水)~3月22日(火)	4月15日(金)	4月23日(土)	オンライン	5月10日(火)
第3回	5月25日(水)~6月7日(火)	7月1日(金)	7月9日(土) または 7月10日(日)	オンライン	7月19日(火)

*第1回と第3回の第2次(最終)選考の試験日は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当し、かつ(3)(4)のいずれかに該当する者。また、英語基準出願者は(5)も満たすこと。

- 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- 高等学校(中等教育学校を含む)を2020年9月21日から2022年9月20日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

(3)【カテゴリーA(英語能力・留学経験アピール)】

次の①~③のいずれかに該当する者。

- 英語能力に関して、TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。
- International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- 外国における高等学校に相当する課程で、正規の教育制度に基づき通算3か月以上の教育を受けた者。

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア
※P.4へ

(4)【カテゴリーB(言語・学芸・社会活動・スポーツ等アピール)】

中学卒業後から出願時までの諸活動において優れた実績を持つ者※1で、高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上の者※2。また、数学について、少なくとも「数学I」ならびに「数学A」を履修し、単位を修得している、または修得見込みである者。

(アピールできる諸活動は最大3件までとし、2017年4月2日以降のものに限ります。)

※1 11ページの「活動実績評価の目安」を参照ください。

※2 高等学校に相当する課程で、日本と日本国外の両方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上必要です。

【英語基準出願者のみ】

- 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。

- TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
- International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者など十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
※P.4へ

この方式の対策は?

- 3か月以上の短期留学でもアピールできます。留学で伸ばした語学力も資格をとってアピールしましょう。
- 語学の資格とクラブ活動での入賞など、複数の活動実績をアピールすることもできます。
- 語学の資格がなくても他の活動で実績があれば積極的にアピールしましょう。
- エッセイは、自らを振り返り、経験を通じて成長したことや困難をどの様に乗り越えることができたかなどを具体的に表現しましょう。
- 面接では志望理由も大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。

秋期・海外就学経験者(帰国生)入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

海外での学習・生活経験や、その後の日本での学修活動などを総合的に評価する入試方式です。
言語の異なる国や地域での体験を活かして、将来活躍したいという思いを持つ人は、積極的にチャレンジしてください。
なお、面接はオンライン利用のため、海外在住の方でも一時帰国する必要はありません。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。

❗ 選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 海外における経験の豊かさとその成果
- 高等学校に相当する課程での学習成果
- 言語能力の水準
- エッセイ: 高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

第1次選考 合格者

■ 第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。

❗ 選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終)選考試験日 ※下記の期間から本学が 日時を指定します。	合格発表日
第1回	2021年 12月1日(水)~12月14日(火)	2022年 1月14日(金)	1月19日(水)~1月21日(金)	2月1日(火)
第2回	2022年 2月9日(水)~2月22日(火)	3月18日(金)	3月23日(水)~3月25日(金)	4月5日(火)
第3回	4月6日(水)~4月19日(火)	5月13日(金)	5月18日(水)~5月20日(金)	5月31日(火)

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

日本国籍を有する者(日本に永住権を持つ者を含む)であって、次の(1)~(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を2019年9月21日から2022年9月20日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。
- (3) 外国において、正規の教育制度に基づく中学校・高等学校(Grade7以上)にあたる課程で2022年9月20日までに通算2年以上の教育を受けた、または受ける見込みの者。

[英語基準出願者のみ]

- (4) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。
 - ① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
 - ② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
 - ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
P.4へ

この方式の対策は?

- 志望理由書、エッセイの作成時や面接では、日本国外で生活をし、教育を受けたことでどのような成長ができたのかをよく考えましょう。
- APUに入学した後で、自分の経験をどのように活用するのか考えてみましょう。
- 居住していた国や地域で使用していた言語の資格を取得していれば積極的にアピールしましょう。
- 30分の面接は長く感じるかもしれませんが、志望理由を深めるだけではなく、さまざまな社会情勢にアンテナを張って考えを深めておくことも役に立つでしょう。

秋期・国際バカロレア (IB) 入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

International Baccalaureate (IB) のディプロマの取得 (または取得見込) 者を対象とし、ディプロマ取得に至る学びを評価する入試方式で、APUでのさらなる学びを通して世界で活躍する人材に成長することを期待しています。
なお、面接はオンライン利用のため、海外在住の方でも一時帰国する必要はありません。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲や熱意、記述の論理性や説得力
- 課題論文 (EE:Extended Essay) の内容 など

第1次選考
合格者



■ 第2次 (最終) 選考

個人面接 (オンライン30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 課題論文 (EE:Extended Essay) 等の出願書類をもとに、APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次 (最終) 選考試験日 ※下記の期間から本学が 日時を指定します。	合格発表日
第1回	2022年 3月9日 (水) ~ 3月22日 (火)	4月15日 (金)	4月20日 (水) ~ 4月22日 (金)	5月10日 (火)

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます (同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)~(3)のすべてに該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得した者または2022年9月20日までに取得する見込みの者。
- (3) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。

① International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得または取得見込みの者。

② **[日本語基準出願者]**

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア [P.4](#)へ

[英語基準出願者]

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア [P.4](#)へ

③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目 (言語教育科目を除く) を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

2022年9月20日までに、International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得できなかった者は、合格した場合であっても入学資格を取り消します。

APハウス (国際教育寮) について

秋期・国際バカロレア (IB) 入試の合格者は、APハウス選考において優先的に入寮を許可します。

この方式の対策は?

- International Baccalaureate (IB) のディプロマ取得に至る学びについて、説得力をもって説明できるようにしておきましょう。
- APUに入学した後で、自分の学習経験をどのように活用するのか考えてみましょう。

編入学試験・転入学試験

編入学試験・転入学試験

日本語
基準

英語
基準

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

4月入学

9月入学

趣 旨

さまざまな高等教育機関で獲得した知識をベースとして、さらに自らを高めようとする意欲に溢れたみなさんの入学を期待しています。なお、面接はオンラインで行います。

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合、「エッセイ」は英語で作成してください。

第1次選考
合格者

■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。

❗ 選考・評価のポイント

- 編入学後・転入学後の学修への意欲
- 専門領域に対する興味・関心
- 在籍高等教育機関等での学業成績
- 言語能力の水準

など

❗ 選考・評価のポイント

- 入学後の学修および正課外を含む
学生生活全般への意欲
- 応答の的確性

など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分		出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考結果通知日	第2次(最終) 選考試験日	合格発表日
4月入学	第1回	2021年 9月1日(水)	(第1回)2021年10月15日(金)	10月20日(水)	(第1回)2021年11月 2日(火)
	第3回	12月14日(火)	(第2回) 11月19日(金) (第3回)2022年 1月14日(金)	2022年 1月21日(金)	(第2回) 12月 7日(火) (第3回)2022年 2月 1日(火)
	第3回	12月14日(火)	(第3回)2022年 1月14日(金)	1月21日(金)	(第3回)2022年 2月 1日(火)
9月入学	第1回	2021年 12月1日(水)	(第1回)2022年 1月14日(金)	2022年 1月19日(水)	(第1回)2022年 2月 1日(火)
	第3回	2022年 4月19日(火)	(第2回) 3月18日(金) (第3回) 5月13日(金)	5月20日(金)	(第2回) 4月 5日(火) (第3回) 5月31日(火)
	第3回	2022年 4月19日(火)	(第3回) 5月13日(金)	5月20日(金)	(第3回) 5月31日(火)

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

出願資格1(学修歴)および出願資格2(言語能力)の両方を満たす者。

出願資格1(学修歴)

【2回生編入学、3回生編入学】

次の①②のいずれかに該当する者。

- ①短期大学・高等専門学校を卒業または卒業見込み*の者。
- ②文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校専門課程を修了または修了見込み*の者。ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。

※(4月入学)2022年3月31日までに
(9月入学)2022年9月20日までに

【2回生転入学】

大学に1年以上在学し30単位以上を修得している者、またはその見込み*の者。なお、日本国外の大学の場合は、大学に1年以上在学し卒業に必要な単位数の1/4を修得済であること、またはその見込み*であること。

【3回生転入学】

大学に2年以上在学し60単位以上を修得している者、またはその見込み*の者。なお、日本国外の大学の場合は、大学に2年以上在学し卒業に必要な単位数の1/2を修得済であること、またはその見込み*であること。

※(4月入学)2022年3月31日までに
(9月入学)2022年9月20日までに

出願資格2(言語能力)

【日本語基準入学】

- 2回生編入学・転入学：出願時点でTOEFL iBT® Test 55点相当以上のスコアを持つ者。
- 3回生編入学・転入学：出願時点でTOEFL iBT® Test 61点相当以上のスコアを持つ者。

【英語基準入学】

- 編入学・転入学(2回生・3回生)：出願時点でTOEFL iBT® Test 85点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test の各スコアに相当する成績
☞P.4へ

最終の成績証明書の提出がない場合は、入学資格が取り消されます。

総合型選抜

海外就学経験者入試

国際バカロレア入試

一般選抜

出題方針と学習のポイント

秋期入試

編入学・転入学試験

入試結果データ

学費等・奨学金

入試結果データ

総合型選抜入試・特別入試結果 [2021年4月入学]

■世界を変える人材育成入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	92	25	15
国際経営	63	16	9
合計	155	41	24

■総合評価入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	222	60	40
国際経営	131	37	24
合計	353	97	64

■活動実績アピール入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	286	235	173
国際経営	138	112	66
合計	424	347	239

■海外就学経験者入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	53	31	17
国際経営	28	14	5
合計	81	45	22

■国際バカロレア入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	7	7	3
国際経営	0	0	0
合計	7	7	3

秋期入試結果 [2020年9月入学]

■秋期AO入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	22	14	8
国際経営	31	24	14
合計	53	38	22

■秋期・帰国生徒入試B

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	25	20	15
国際経営	9	7	6
合計	34	27	21

編入学試験・転入学試験結果

■2021年4月入学

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	3	3	2
国際経営	6	4	3
合計	9	7	5

※表中の数値は、2回生編入学・転入学志願者と3回生編入学・転入学志願者の合計です。

■2020年9月入学

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	3	2	1
国際経営	2	2	2
合計	5	4	3

※表中の数値は、2回生編入学・転入学志願者と3回生編入学・転入学志願者の合計です。

一般選抜入試結果 [2021年4月入学]

アジア太平洋学部 (APS)

入試方式	志願者数	受験者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	403	387	58	320	236	73.8%
英語重視方式	109	102	25	250	197	78.8%
共通テスト併用方式	156	142	27	300	251	83.7%
共通テスト方式 (7科目型)	68	68	29	900	689	76.6%
共通テスト方式 (5科目型)	95	95	37	1,000	772	77.2%
共通テスト方式 (3教科型)	236	236	82	500	416	83.2%
後期方式	91	85	9	220	159	72.3%
共通テスト+面接方式	14	11	2	400	321	80.3%
共通テスト方式 (後期型)	5	5	1	800	653	81.6%

国際経営学部 (APM)

入試方式	志願者数	受験者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	365	345	103	320	212	66.3%
英語重視方式	96	92	40	250	177	70.8%
共通テスト併用方式	141	135	54	300	225	75.0%
共通テスト方式 (7科目型)	45	45	24	900	660	73.3%
共通テスト方式 (5科目型)	75	73	34	1,000	749	74.9%
共通テスト方式 (3教科型)	184	184	71	500	385	77.0%
後期方式	103	94	22	220	150	68.2%
共通テスト+面接方式	12	9	3	400	300	75.0%
共通テスト方式 (後期型)	8	8	2	800	664	83.0%

入学検定料／入学手続時納付金／学費

入学検定料

入学検定料は入試方式により異なります。

入試区分	入試方式	1出願あたりの入学検定料額	
総合型選抜 海外就学経験者(帰国生)入試 国際バカロレア(IB)入試 秋期入試 編入学試験・転入学試験	世界を変える人材育成入試、総合評価入試、活動実績アピール入試、 秋期・世界を変える人材育成入試、秋期・活動実績アピール入試	第1次選考：10,000円 第2次選考：25,000円	
	海外就学経験者(帰国生)入試、国際バカロレア(IB)入試、 秋期・海外就学経験者(帰国生)入試、秋期・国際バカロレア(IB)入試、編入学試験・転入学試験	35,000円	
一般選抜	前期方式、英語重視方式、共通テスト併用方式、共通テスト+面接方式	35,000円	
	後期方式	1出願	35,000円
		2併願目	(上記に加えて)10,000円
	共通テスト方式(後期型を除く)	1出願	18,000円
		2併願目以降	(上記に加えて)各10,000円
共通テスト方式(後期型)		18,000円	

入学手続時納付金

入学手続は、オンライン入学手続サイトから入学手続情報を登録し、所定の期間内に「入学手続時納付金(第1次・第2次)」を納入するとともに、入学手続書類を提出することで完了します。入学手続に関する詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」でお知らせします。

■入学手続時までに必要な納付金 ※アジア太平洋学部・国際経営学部 共通

入学手続時納付金 [4月入学・9月入学 共通]	
第1次入学手続時納付金	第2次入学手続時納付金
入学金	第1セメスター授業料A・ 授業料Bおよび諸経費
200,000円	690,000円

以下の入試方式で合格した方 ●後期方式 ●共通テスト+面接方式 ●共通テスト方式後期型(4科目型)
第1次入学手続時納付金・第2次入学手続時納付金 および諸経費一括納入
890,000円

学費



*入学金・授業料は改定されることがあります。

最短修業年限までの年間授業料額(見込額)				
	1回生時	2回生時	3回生時	4回生時
1回生入学	¥1,300,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000
2回生入学	—	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000
3回生入学	—	—	¥1,500,000	¥1,500,000

要卒単位数を超える単位の修得や5回生以上の場合

- 最短修業年限内に卒業に必要な単位(124単位)を超える単位を登録・取得した場合でも、追加して授業料を支払う必要はありません。ただし、特定のプログラムの履修に際して別途費用が必要になる場合もあります。
- 最短修業年限を超えて5回生以上になった場合の授業料は、授業料Aの半額と受講登録した単位数分の授業料(22,500円×登録単位数)が必要です。

奨学金制度

立命館アジア太平洋大学では、本学独自の奨学金や、「日本学生支援機構奨学金」をはじめとする奨学団体や地方公共団体などの奨学金を取り扱っています。

それぞれの奨学金は、趣旨・対象・金額・募集の有無・募集時期などに相違があります。奨学金の受給を希望されるみなさんは、各種制度の内容をよく理解し、自らの学生生活の設計をしっかりと立てた上で出願してください。

(1) 本学独自の奨学金制度

入学試験合格者のうち成績が優秀なものに支給される奨学金

国内学生優秀者育英奨学金

対象入試：2022年4月・9月入学 国内学生入学試験（1回生新入学）※編入学・転入学試験は対象外

採用人数：55名

金額：授業料の半額に相当する額

支給期間：4年間 ※ただし、セメスター（学期）ごとに継続審査あり

支給方法：学費請求時に奨学金の支給額を授業料と相殺

申請方法：出願登録時に受給を希望する旨を申告

合否基準：総合型選抜や海外就学経験者（帰国生）入試、国際バカロレア（IB）入試においては、出願書類の評価が優れているとともに、第2次選考の面接評価が優れている者が合格となります。一般選抜においては、各入試方式の得点上位者が合格となります。

経済支援を目的とした、入学後に申請できる奨学金。国内学生優秀者育英奨学金との併給が可能

国内学生授業料減免制度

対象：在学生のうち、所定の応募資格（世帯収入や学業成績など）を有するもの

金額：授業料の半額に相当する額

※ただし、国が実施する高等教育の修学支援制度による授業料減免を受ける場合は、その減免額が上記金額に満たない部分について減免を行います。

支給期間：最大4年間（最短修業年限内）※ただし、1年に1回の継続審査あり

支給方法：学費請求時に奨学金の支給額を授業料と相殺

申請方法：入学後（4月・10月）に申請期間を設けます。詳細は入学後の案内をお待ちください。

その他の本学独自奨学金

（内容は予告なく変更される場合があります）

名称	種別	資格／対象	採用人数（年間）	金額
安藤百福名誉博士奨励賞	給付	学部の3回生（5セメスター生）で次のいずれかを満たす者 ①学業成績優秀者 ②自主活動で顕著な成績を修めた者	4名以内	上限50万円
安藤百福名誉博士栄誉賞	給付	卒業予定者（8セメスター生）のうち、学業および課外活動で成績優秀かつ意欲的な進路の目標を掲げている者	4名以内	上限100万円
優秀学生奨励金	給付	所定の単位を修得し、かつ各学部、各セメスター学年において当該セメスター期の学業成績が最も優秀な者	30名程度	上限10万円
自主活動奨励金	給付	自主的諸活動において顕著な成果を修めた個人または団体	予算の範囲内で定める	団体上限10万円 個人上限5万円
国内学生経済支援授業料減免	給付	主たる家計支持者の死亡、失職等で家計が急変し、学業の継続が困難となった者（入学後の急変のみ対象）	20名以内	授業料の50%減免
APU-Club・国内学生父母の会修学援助奨学金	給付	国内学生経済支援授業料減免に採用された学生の内、APU-Club・国内学生父母の会会員子女	20名以内	20万円

(2) 本学以外の奨学金制度

日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金については、合格者に送付する入学手続要項で申し込みの詳細を確認してください。

第一種奨学金	
種類	貸与型・無利子
金額	自宅通学者 「最高月額」：54,000円 「最高月額」以外の金額：20,000円、30,000円、40,000円から選択できます。 自宅外通学者 「最高月額」：64,000円 「最高月額」以外の金額：20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、54,000円から選択できます。
出願資格	学力基準：高等学校最終2か年の成績の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.5以上（高等学校卒業程度認定試験に合格し、上記に準じると認められる者を含む）または、前所属機関で成績優秀な者 家計基準：父母など家計を支えている者の年収（税込み）の上限 （例）4人世帯・自宅外通学者の場合 ● 給与所得・・・「最高月額」受給対象者：年収808万円以内／「最高月額」以外受給対象者：年収851万円以内 ● 給与所得以外の世帯・・・「最高月額」受給対象者：年収400万円以内 「最高月額」以外受給対象者：年収443万円以内 （この金額は目安です。家族の人数や世帯の状況などにより異なります。）
貸与期間	貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限。
第二種奨学金	
種類	貸与型・有利子（在学期間中は無利子、貸与利率は上限3%）
金額	（月額）20,000円から120,000円までの1万円単位の金額の中から選択できます。
出願資格	学力基準：本学入学により学力基準を満たします。 家計基準：父母など家計を支えている者の年収（税込み）の上限 （例）4人世帯・自宅外通学者の場合 ● 給与所得・・・年収1,194万円以内 ● 給与所得以外の世帯・・・年収786万円以内 （この金額は目安です。家族の人数や世帯の状況などにより異なります。）
貸与期間	貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限。受給の開始は申込完了後、最速2ヵ月後。

※緊急採用・応急採用奨学金：家計が急変した学生を対象に、随時出願を受け付ける制度があります。

※日本学生支援機構奨学金の2回生以降における募集は、毎春別途実施します。

給付型奨学金の申込方法や受給条件は日本学生支援機構のホームページで確認してください。

民間奨学財団奨学金（貸与または給付）／地方公共団体奨学金（貸与または給付）

- 奨学財団、地方公共団体によって内容が異なります。
- これらの団体の募集要項はAPUに募集依頼があり次第、スチューデント・オフィスのホームページに掲載します。
- 地方公共団体奨学金については、地方公共団体（都道府県など）の教育委員会へ直接問い合わせることをお勧めします。

Q 総合型選抜、海外就学経験者（帰国生）入試、国際バカロレア（IB）入試は「専願」の入試ですか？

A 「専願」とはしていませんので、他大学との併願受験も可能です。

Q APハウスへ入寮希望者の合否は、どの様に決まるのですか？

A APハウスへの入寮を希望される方は出願時に申請をする必要があります。入試の成績順によって合否が決まります。総合型選抜（世界を変える人材育成入試を除く）や海外就学経験者（帰国生）入試においては、出願書類の評価が優れているとともに、第2次選考の面接評価が優れている者が合格となります。一般選抜においては、各入試方式の得点上位者が合格となります。なお、2022年度のAPハウスの募集人数は下記のとおりです。

総合型選抜・海外就学経験者（帰国生）入試・国際バカロレア（IB）入試・学校推薦型選抜	約225名
一般選抜	約225名
編入学・転入学試験	若干名
秋期入試	約20名
計	約470名

Q 英語外部資格試験のスコアをもっていないですが、入試では不利になりますか？

A 英語外部資格試験のスコアを保有している場合、加点要素になりえます。ただし、保有していない場合でも、学業成績や志望理由書・エッセイ等の出願書類、面接の評価によって合格する方も多くいます。なお、英語外部資格試験が出願資格となっている入試方式、基準言語については、スコアを保有しているとともに出願基準をクリアしていることが必要です。

Q 複数の入試方式を併願できますか？

A 出願資格を満たしていれば、基本的に総合型選抜、海外就学経験者（帰国生）入試、国際バカロレア（IB）入試、一般選抜の間でも併願が可能です。総合型選抜、海外就学経験者（帰国生）入試、国際バカロレア（IB）入試については、試験日が他の入試方式と同日でも併願可能です（同一日に二つの試験を受験することになります）。

Q 入試日程で有利になったり、不利になったりすることはありますか？

A 複数の試験日を設定している理由は、多くの受験生に受験機会を提供するためです。そのため、入試日程によって、有利、不利が生じることはありません。ただ、早い時期に受験をした場合、仮に不合格になっても再度チャレンジできるというメリットはあるかもしれません。

立命館アジア太平洋大学



Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学
アドミッションズ・オフィス

〒874-8577 大分県別府市十文字原1丁目1番
TEL:0977-78-1120(平日9:00~17:30)
FAX:0977-78-1199
Email: apumate@apu.ac.jp



受験生サイト APUMate
<https://www.apumate.net>

2021年06月発行
2021年10月 第二版発行